

手賀沼流域

協働調査結果(平成23年度)

湧水

手賀沼流域の各湧水地点で、平成23年度に実施した冬季の湧出量とパックテストによる硝酸性窒素濃度調査結果をまとめました。

【参加団体】

我孫子市環境レンジャー、印西市環境推進市民会議委員、大津川をきれいにする会、鎌ケ谷・大津川を清流にする会、沼南手賀沼ボランティア会、白井の自然を考える会、緑水会

※五十音順

柏市、我孫子市、松戸市、印西市、鎌ケ谷市、白井市、千葉県（事務局:千葉県環境生活部水質保全課）

”硝酸性窒素”とは…

硝酸性窒素は、水中では硝酸イオンとして存在しています。湧水の硝酸性窒素濃度が高い場合には、周辺の土壌等から、硝酸イオンが混入していると考えられます。硝酸イオンの負荷源としては、家畜のふん尿や生活排水に含まれるアンモニウムが酸化されたものや、農地の肥料等が考えられます。

地下水の環境基準は10mg/L以下（硝酸性窒素の分解過程でできる亜硝酸性窒素を含む）とされており、これを超えると好ましくありません。

